新庄小

センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～8月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

花や葉を支えているのは枝、枝を支えているのは幹、幹を支えているのは根。花や葉や枝や幹は見えますが、根は見えません。見えない根を太く丈夫に育てることで、美しい花が育ちます。子どもの感性（感じる心）を育てることも、木の根を太く丈夫に育てることと似ているように思うのです。

外にほしてある洗濯物にさわったら、ふんわりあたたかくて、太陽のにおいがした。（３年女子）

肌の色も、髪の色も、目の色も違う人たちが、戦った後は、握手をしたり、抱き合ったりしている。オリンピックって、すてきだな。（４年女子）

いつもは声を出さない兄の野球チームが、今日は声をかけ合って、試合に勝てた。チームプレーの大切さに気付いた。（４年女子）

夜、空を見上げたら、たくさんの星が宝石のように輝いていた。とてもきれいだった。（３年女子）

２匹の幼虫のうち、１匹はカブトムシの成虫になり、もう１匹はあと少しのところで成虫になれなかった。「成長するって、たいへんなことだな」と思った。（４年男子）

生まれて７か月の弟が、自分の力で立ち上がろうとしていた。すごいな。（４年女子）

つめたいジュースの中に、氷を入れたら、キンと音がしてひびがはいった。ふしぎだな。（３年女子）

夕日が、海にもぐっていくように沈んでいった。海はピカピカと光り、やがてオレンジ色にかわっていった。神秘的だった。（４年男子）

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第３号　R３　９.２２